

42. 3. 31

亞北野田課長 殿

在/9/2 前田利一

拜啓

本日午後上川公使柳夫專無事着任北
下也。小生 氣分のよき樂に受けたりす。

遺骨の件。木村大便是。選挙前の二
つあり。先方のご機嫌にございませぬとの
お接しの仕方よりとの柳感觸です。

最近先方から。お礼はございませぬとの
催促もございませぬ。二つから進ん

今二の時期に説明するにございませぬ
と。かゝる当館関係者一同も承知の事
です。

す。

大便是と受けたり。近々一昨帰国の際

牛場正人氏に話され、牛場正人氏は金
大塚、又々、小川局長は安心便、
説明は十分、そのこと、
おそれない。御参考なり。

又、上記並に一昨帰国されたこと
の事、張副総理訪日の際、御自身も
戻られたこと、おそれないこと、意
味は、(貴課長お命じり)

こと。30日参院外務委員会の
佐藤総理の竹島問題の御発言が
東京30日付の刊に中央日報に於いて
大まかにお話しされたい事。

隨所報告致し奉る。此の

文は。

心の中 締印りに 迫られ。

鉛筆に 要する。

敬具